

—新しい生活様式をめざして—

「勤労者生活とリモートワーク、オンライン 社会についての意識調査」の結果報告

2021年3月

公益社団法人 京都勤労者学園

はじめに

京都府の援助を得て、毎年京都勤労者学園が行っている「労働者の状態・意識調査」、今年度のテーマは、「新しい生活様式」として急速に進行している「リモートワーク、オンライン社会についての勤労者の意識調査」で、今年度も連合京都、京都総評をはじめ京都府内の労働組合の協力を得て、傘下組合員を中心に実施しました(アンケート用紙参照)。今回も 2000 枚近くの回答用紙を回収し、集計することが出来ました。本冊子はこれをまとめたもので、今後、関係諸団体での活用を期待するところです。尚、集計、分析などはNPO法人京都社会労働問題研究所の協力を得て行いました。

調査の概要は、

- 1、調査対象者：京都府内における労働組合の組合員
- 2、調査手法：労働組合を通じて職場の労働者にアンケート調査
- 3、調査時期：2020 年 10 月配布、11 月回収、回収枚数：1,966 人分

調査結果の概要

1 回答者数とその属性

府内の労働組合を通じて 2020 年 10 月に配布し、11 月末に回収した。回収数は 1,966 人分であった。内訳は男性 8 割、正社員 9 割を超え、業種別では製造業が 4 割、「運輸・建設」が 15%を占めていた。業務内容は営業・事務などが 4 割で、事業所規模は 500 人を超える企業に雇用されている人が半数近くに上った。

2 職場のオンライン化は

「進んでいる」が 4 割、「以前から」が 1 割で、半数がオンライン化の職場で働いている。多いところは、「教育・学習」「通信・情報」「製造」などで、あまり進んでいないのは「運輸・建設」「公務」「医療・福祉」などであった。大企業ほど「進んでいる」とする人が多かった。

3 オンライン会議と「リモート(在宅)ワーク」

オンライン会議を 6 割超で経験している。オンライン化が「進んだ」職場の 9 割以上が経験している。「リモート(在宅)ワーク」は全体で 44.9%であり、オンライン化の「進んだ」職場では 74.7%であった。オンライン化としてオンライン会議とリモートワークが代表的な働き方となっている。

4 社会生活の中でもオンライン化

社会生活上の経験としてオンライン化が進んで、「予約・買物(通販)」で男性 37.2%、女性で 54.3%が利用している。社会生活の中では女性の経験頻度が高い。家族の経験では、「予約・買物(通販等)」が最も多く 31.8%で最も多かった。オンライン上でしてみたいことでは「特になし」が 48.9%と半数近くある。してみたいことの第 1 位は「趣味(動画・ライブ・演奏等)」であるものの、頻度は 21.2%と少なかった。

5 インターネット設備について

インターネット環境については、設備としては「社内 Wi-Fi・LAN」が 6 割以上で調い、オンライン

会議用の設備や機材もかなり普及している。特に、「通信・情報」や「教育・学習支援」の職場では設備的な環境は行き渡っている。また、当然のことではあるが、オンライン化が「進んだ」及び「以前から整備」の職場では設備の配置も相当進んでいる。

自宅における設備では「Wi-Fi・LAN」が最も多く 86.1%に達し、「スマホ」の普及率も高い。

6 オンライン化に対する評価は

これらに対する評価をみると、オンライン化が「進んだ」職場に所属する例で、仕事に関連して「よかったこと」は「通勤時間が不要／短縮」7割、「コロナの感染リスクが減った」6割弱などの評価がみられるものの、「仕事はかどる」「家事と仕事の両立」などは低い評価になっている。

また、生活面への影響では「よかったこと」は「余暇時間が増えた」が 42.3%あるが、「家族とのコミュニケーションが増えた」(24.2%)など、総じて、仕事面の「よかったこと」の指摘率よりも評価は低かった。

7 オンライン化で「困ったこと・不満な点」

仕事面で、全体で「上司や部下と会ってゆっくり話す機会がない」が最も多く 27.1%、次いで「業務の性格上、在宅ワークが難しい」(20.9%)などであった。無回答も多く、仕事面では評価しにくいと推察された。

心身の健康面への影響については、オンライン化が進んだ職場では「目が疲れる」(35.1%)、「筋力が衰え足腰が弱りやすい」(40.5%)、「腰痛になりやすい」(33.4%)、「仕事と生活の区別やメリハリがつけにくい」(31.8%)となっている。いずれも、オンライン化が進んでいない職場の場合よりも 1～2 割程度多く、健康面でかなりのマイナス影響が指摘されている。

オンライン化で金銭的な負担が増えたかどうかをみると、半数以上が無回答で、顕著な影響があるという指摘は少なかったが、3割弱で「在宅時間が長くなり、光熱水費の支出が増えた」としている。

技術面での「困ったこと・不満な点」も無回答が多かった。

8 職場と行政への要望

オンライン化の波に対する職場に関する要望を見ると、「Wi-Fi 等の毎月の費用補助」(35.8%)、「リモート作業用の PC の貸与」(34.5%)、「光熱費の補助」(31.6%)などであった。同じく行政に対する要望として、「企業へのリモートワーク整備費用の支援枠拡大」(39.5%)、「ネット関連業者に対するセキュリティの強化指導」(34.2%)、「経済的に厳しい家庭へのネット代金補助などオンライン化支援」(32.9%)などであった。

9 むすび

「リモートワーク」「テレワーク」「オンライン会議」などが急速に取り入れられる傾向にあるが、取り入れることが困難な職場もあり、この意味で二極化が見られる。急速に取り入れられる職場で、新型コロナウイルス感染症対策とも相まって、積極的あるいは抵抗感が少なく受け入れられていると判断される。

その上で、解決が求められる課題がいくつか見られる。一つ目は、心身の健康面への影響である。二つ目は、技術的環境的条件の費用負担の問題である。三つ目には、仕事にかかわる時間が長くなり、労働時間短縮の傾向に反するという問題である。

2020年度「勤労者生活とリモート（在宅）ワーク、オンライン社会についての意識調査」

公益社団法人 京都勤労者学園（愛称：ラポール学園）

コロナ禍の中で、その予防策としての「新しい生活様式」が提唱され、今まで「対面」で、「会って」が当たり前だったが、「オンライン会議」「オンライン面接」「リモート（在宅）ワーク」「オンライン学習」「オンライン飲み会」「オンライン診療」「オンライン帰省」など、自宅に居ながらネット上で顔を見て会話するオンライン社会へと急速に移行が進んでいます。本調査では、コロナ禍によって加速された「オンライン化」が勤労者の働き方と生活にどのような影響を与えているのか、ワーク・ライフ・バランスの視点から勤労者の意識や要望、課題について探り、職場・行政等への要望や求められる対策を探ります。

（公社）京都勤労者学園（愛称：ラポール学園、ラポールはラテン語で「労働」の意）は、1957年に労働組合、大学教員等の学識経験者、京都府・京都市の協力によって設立され、京都市と共に勤労者教育に関する事業の実施し、夜間の常設の各種学校である「京都労働学校」を運営しています。労働法、経営、哲学、日本史等の他、ビジネスマナー等資格取得の講座や英会話等の語学講座、メンタルヘルスについての理解を深める講座等を開講しています。

※ 回答は、該当する選択肢の数字に○印をつけてください。

【問1】属性（※性別・年齢について答えたくない方は空白で結構です。）

- 性別：①男性 ②女性
- 年齢：①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代以上
- 就労形態：①正社員 ②短時間正社員 ③有期・契約社員 ④派遣社員
⑤パート・アルバイト ⑥その他（ ）
- 事業所の業種：①製造 ②卸・小売 ③運輸・建設 ④通信・情報 ⑤公務
⑥教育・学習支援 ⑦医療・介護・福祉 ⑧サービス業
⑨その他（ ）
- 業務の内容：①接客・販売・営業 事務 ②看護・介護・保育 ③製造
④建設 輸送・運転 ⑤保安・施設管理 ⑥運搬清掃包装
⑦教員・セミナー講師 ⑧研究・技術等専門職
⑨その他（ ）
- 事業所の規模：①10人以下 ②30人以下 ③50人以下 ④100人以下
⑤300人以下 ⑥500人以下 ⑦501人以上

現状

問2 コロナ禍によってオンライン化が急速に加速していますが、あなたの職場/部署ではいかがですか（いずれか1つに○）

- ① はい、最近自分の職場/部署でオンライン化が進んだ
- ② 以前からオンライン化に向けた整備は始まっていた
- ③ いいえ、あまりオンライン化は進んでいない
- ④ その他（ ）

【問3】あなたの職場/部署で、オンライン上で実施している事項はありますか（該当する全てに○）

- ① オンライン会議（テレビ会議含む）
- ② オンライン面接
- ③ オンライン商談
- ④ オンライン採用面接
- ⑤ リモート（在宅）ワーク
- ⑥ オンライン（ネット）学習・研修
- ⑦ オンラインカウンセリング
- ⑧ ない
- ⑨ その他（ ）



【問4】最近ご自身で、オンライン上で経験したことはありますか（該当する全てに○）

- ① 知人・友人との交流（飲み会・食事会・同窓会等）
- ② 家族行事（帰省・結婚式・法事等）
- ③ 就活（就職応募・就職面接等）
- ④ 学習・セミナー・集会
- ⑤ 趣味（動画・ライブ・コンサート・演奏等）
- ⑥ 婚活
- ⑦ 医療・介護・育児相談等
- ⑧ 予約・買物（通販・フリマ・オークション等）
- ⑨ 情報検索収集・読書
- ⑩ SNS（Facebook・ツイッター・インスタグラム等）
- ⑪ ない
- ⑫ その他（ ）

【問5】最近ご家族が、オンライン上で経験されたことはありますか（該当する全てに○）

- ① 知人・友人との交流（飲み会・食事会・同窓会等）
- ② 家族行事（帰省・結婚式・法事等）
- ③ 就活（就職応募・就職面接等）
- ④ 学習・セミナー・集会
- ⑤ 趣味（動画・ライブ・コンサート・演奏等）
- ⑥ 婚活
- ⑦ 医療・介護・育児相談等
- ⑧ 予約・買物（通販・フリマ・オークション等）
- ⑨ 情報検索収集・読書
- ⑩ SNS（Facebook・ツイッター・インスタグラム等）
- ⑪ ない
- ⑫ その他（ ）

【問6】今後オンライン上でしてみたいことはありますか（3つに○）

- ① 知人・友人との交流（飲み会・食事会・同窓会等）
- ② 家族行事（帰省・結婚式・法事等）
- ③ 就活（就職面接等）
- ④ 学習・セミナー・集会
- ⑤ 趣味（動画・ライブ・コンサート・演奏等）
- ⑥ 婚活
- ⑦ 医療・介護・育児相談等
- ⑧ 予約・買物（通販・フリマ・オークション等）
- ⑨ 情報収集・読書
- ⑩ SNS（Facebook・ツイッター・インスタグラム等）
- ⑪ 特にない
- ⑫ その他（ ）

インターネット環境

【問7】現在、あなたの職場/部署で整備がされているものは何ですか（該当する全てに○）

★インターネット設備

- ① 社内Wi-Fi・LAN
- ② リモート（在宅）ワーク用のノートパソコン・スマホ・タブレット
- ③ オンライン会議に使えるカメラ・マイク付きパソコン・スマホ・タブレット
- ④ オンライン会議ソフト（Zoom・Google Meet・Teams等）
- ⑤ オンライン会議を始めるための設備機器（集音マイク・スクリーン・カメラ・プロジェクター等）
- ⑥ その他（ ）

★職場環境

- ⑦ オンライン対応知識を持った人材
- ⑧ リモート（在宅）ワークしやすいフレックスタイム
- ⑨ リモート（在宅）ワーク用の連絡システム
- ⑩ 一応全体的に整備はされているが、不十分
- ⑪ 何も整っていない
- ⑫ その他（ ）

【問8】現在、あなたの自宅に整備がされているものは何ですか
(該当する全てに○)

- ① Wi-Fi・LAN
- ② 自分のノートパソコン・スマホ・タブレット
- ③ 家族のノートパソコン・スマホ・タブレット
- ④ スマホ
- ⑤ オンライン会議ソフト (Zoom・Google Meet・Teams 等)
- ⑥ オンライン作業をするための専用空間
- ⑦ 何もない
- ⑧ その他 ()

「オンライン」化に対する意識

【問9】オンライン化になってよかったことは(該当するもの全てに○)

★仕事面

- ① 通勤時間が不要／短縮
- ② 通勤時の混雑から解放された
- ③ 新型コロナウイルスの感染リスクが減った
- ④ 出張が減った
- ⑤ 必要な要件だけ話すので、対面よりも気が楽
- ⑥ 職場で雑務をする必要がない
- ⑦ 仕事はかどる
- ⑧ 情報の共有化が進んだ
- ⑨ 家事都合が入っても、仕事と両立出来る
- ⑩ 職場でのイライラやストレスがない
- ⑪ 昼食代がかからない
- ⑫ その他 ()



★生活面

- ⑬ 余暇時間が増えた
- ⑭ 余暇が充実した
- ⑮ 家族とのコミュニケーションが増えた
- ⑯ 今まででは遠くて参加出来ないと諦めていたイベントやセミナー・講座に参加することが可能になった
- ⑰ 会場までの往復の時間と交通費がかからない
- ⑱ その他 ()

【問10】オンライン化になって困ったこと・不満な点は(該当するもの全てに○)

★仕事面

- ① 上司や部下と会ってゆっくり話す機会がない
- ② セキュリティのため、仕事のファイルを自宅で開くことができず、在宅で出来ることが限定される
- ③ 在宅ワークになって業務量が増えた
- ④ 時間管理が曖昧になり、勤務時間を超えて仕事をしてしまう
- ⑤ 在宅ワークだと、休憩がとりづらい
- ⑥ 仕事のやりとりをするために、自宅の電話を使用せざるを得ないときがある
- ⑦ 職場にはデスクトップパソコンしかなく、在宅ワーク時に自分個人のパソコンを使っている
- ⑧ リモート(在宅)ワークを始めるに当たって、自分でネット回線や機材の環境を整備しないといけない
- ⑨ 在宅だと、家族の音がうるさいので、他に部屋を借りる必要があった
- ⑩ どんな業務ならリモート(在宅)ワークが可能なのか、業務の整理が出来ていない
- ⑪ 業務の性格上、リモート(在宅)ワークが難しい
(業務内容:)
- ⑫ 保育所の自席や休校でリモートワークと子供の世話との両立が難しい
- ⑬ 家事の都合によって業務が中断され集中できない

★心身の健康面

- ⑭ 画面を長時間見続けるので、目が疲れる
- ⑮ 出歩く機会が大幅に減るため、筋力が衰え足腰が弱りやすい
- ⑯ 休憩に立つことが少なく長時間椅子に座りがちで、腰痛になりやすい

- ⑰ オンラインだと、決まった時間内に目的のことは行うだけで、集まって前後の時間に行っていた雑談等による交流が出来ない
- ⑱ 人と会う機会が減り、必要最小限の会話しかなく孤独感・疎外感を感じる
- ⑲ ずっと在宅だと、仕事と生活の区別やメリハリがつけにくい

★金銭面

- ②① ネット環境の整備や機材の購入、毎月の回線使用料等、新たな経費が発生した
- ②② インターネットアクセスが極端に遅いので、インターネット契約の内容を変更せざるを得なくなった
- ②③ ネット代・電話代が高くなった
- ②④ リモート(在宅)ワークになったため、今まで会社で出ていた昼食代がなくなり、自宅の食費出費が増えた
- ②⑤ リモート(在宅)ワークにより在宅時間が長くなり、光熱水費の支出が増えた

★技術対応面

- ②⑥ オンライン会議ソフトのインストールの仕方や設定、使い方がわからない
- ②⑦ 使い方を教えてくれる人が周囲にいない
- ②⑧ オンライン会議ソフトの使用中に起こるトラブルに対処出来ない
- ②⑨ 新しい生活様式についていくことが難しいと感じる

★全体的に

- ②⑩ 困ったことは特にない
- ②⑪ その他 ()

今後に向けての要望

【問11】今後様々なオンライン化の波に対応するに当たって求められることは(職場・行政 各3つまで○)

★職場に対して

- ① リモート(在宅)作業用のパソコンの貸与
- ② リモート(在宅)用Wi-Fi等の毎月の費用補助
- ③ 職務連絡用の電話代補助
- ④ 光熱費の補助
- ⑤ 特にない
- ⑥ その他 ()

★行政に対して

- ⑦ 企業へのリモート(在宅)ワーク整備費用の支援枠拡大
- ⑧ オンラインへの移行が難しい高齢者等への支援(無料の講習会等)
- ⑨ 経済的に厳しい家庭へのネット代金補助等、オンライン化支援
- ⑩ ネット関連業者に対するセキュリティの強化指導
- ⑪ 特にない
- ⑫ その他 ()

★付加質問に対するご協力をお願い

勤労者の教育や福祉の向上を目指す事業団体の認知度を高めるため、以下の項目についてもご回答をお願いします。

京都府内には、勤労者の教育や福祉の向上を目指して下記の団体が様々な事業を展開していますが、この調査票を見る前からご存じでしたか。下の①～④の4項目から一つ選び、団体ごとにその番号を[]に記入してください。

【事業団体名】

- | | |
|--------------------------------------|-----|
| 1) ラポール学園(京都勤労者学園) | [] |
| 2) ろうきん(近畿労働金庫) | [] |
| 3) こくみん共済coop(全労済)(全国労働者共済生活協同組合連合会) | [] |
| 4) 労福協(京都労働者福祉協議会) | [] |
| 5) ラポール京都(京都労働者総合会館) | [] |
| 6) Lユニオンラベル京都(有限会社エル・ユニオン京都) | [] |

- ① 事業を利用・活用している、又は、したことがある
- ② 知っていたが、事業を利用・活用したことはない
- ③ 名前は聞いたことがあるが、事業内容等は知らない
- ④ 知らなかった

ご協力ありがとうございました

回答者の属性

回答者の総数は1,966人で、内訳では、男性が1,561人で、79.4%を占め、女性は341人で17.3%となっています。年代別では、40代が最も多く577人、29.3%を占め、次いで30代が26.1%で、30・40代で55%を占めます。50代以上は22.8%で、20代も18.9%に留まります。女性では40代が最も多く、次いで20代、30代、50代という構成になっています。

雇用形態別では、正社員の比率が92.3%と圧倒的で、特に男性では94.5%を占めます。女性でも「正社員」は85.3%を占めますが、「有期・契約」(5.9%)、「パート・バイト」(5.0%)合わせて1割強と一定の割合を占めています。

業種別には、「製造業」が4割(40.2%)を占め、次いで「運輸・建設関係」が15.1%、「その他」が12.0%、「公務」9.9%、「サービス業」8.1%、「情報・通信」8.0%と続きます。女性では「製造業」が最も多いものの「その他」、「公務」に従事している人の割合が多いのが特徴です。

業務内容別では、「接客・販売・営業 事務」が最も多く(39.3%)男性では32.9%、女性では68.9%を占めます。次いで、男性では「研究・技術等専門職」(19.9%)、「製造」(17.3%)、「建設・輸送・運転」(13.1%)と続き、女性では「研究・技術等専門職」(10.6%)「製造」「その他」(6.5%)と続いています。企業規模別には「501人以上」規模の企業に勤務する勤労者が49.7%と約半数を占め、「100人以下」の合計は17.0%、「101人以上500人以下」の合計が27.2%となっています。

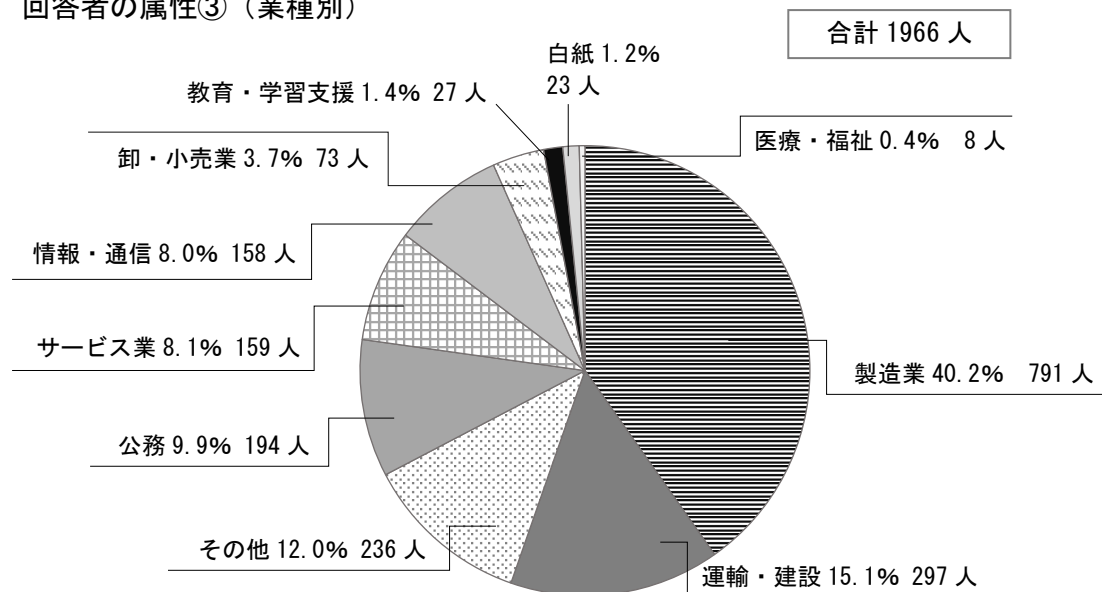
表－１ 回答者の属性①（性別、年代別）

	男性		女性		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%
10代	10	0.6	2	0.6	0	0.0	12	0.6
20代	288	18.4	84	24.6	0	0.0	372	18.9
30代	434	27.8	75	22.0	4	6.3	513	26.1
40代	464	29.7	102	29.9	11	17.2	577	29.3
50代	303	19.4	60	17.6	10	15.6	373	19.0
60代	59	3.8	11	3.2	4	6.3	74	3.8
白紙	3	0.2	7	2.1	35	54.7	45	2.3

表－２ 回答者の属性②（就業形態別）

	正社員		短時間正		有期・契約		派遣		パート・バイト		その他		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
男性	1475	94.5	3	0.2	35	2.2	2	0.1	6	0.4	18	1.2	22	1.4	1561	100.0
女性	291	85.3	2	0.6	20	5.9	2	0.6	17	5.0	5	1.5	4	1.2	341	100.0
白紙	48	75.0	0	0.0	3	4.7	0	0.0	0	0.0	8	12.5	5	7.8	64	100.0
合計	1814	92.3	5	0.3	58	3.0	4	0.2	23	1.2	31	1.6	31	1.6	1966	100.0

表－３ 回答者の属性③（業種別）



表－４ 回答者の属性④（業務内容別）

	男性		女性		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%
接客・販売・営業・事務	513	32.9	235	68.9	25	39.1	773	39.3
看護・介護・保育	0	0.0	4	1.2	0	0.0	4	0.2
製造	270	17.3	22	6.5	10	15.6	302	15.4
建設・輸送・運転	205	13.1	5	1.5	10	15.6	220	11.2
保安・施設管理	67	4.3	6	1.8	0	0.0	73	3.7
運搬・清掃・包装	23	1.5	0	0.0	2	3.1	25	1.3
教員・セミナー講師	12	0.8	0	0.0	0	0.0	12	0.6
研究・技術等専門職	310	19.9	36	10.6	3	4.7	349	17.8
その他	126	8.1	22	6.5	4	6.3	152	7.7
白紙	35	2.2	11	3.2	10	15.6	56	2.8
合計	1561	100.0	341	100.0	64	100.0	1966	100.0

表－５ 回答者の属性⑤（事業所の規模）

	男性		女性		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%
１０人以下	22	1.4	7	2.1	0	0.0	29	1.5
３０人以下	40	2.6	6	1.8	1	1.6	47	2.4
５０人以下	64	4.1	16	4.7	3	4.7	83	4.2
１００人以下	136	8.7	35	10.3	4	6.3	175	8.9
３００人以下	322	20.6	57	16.7	20	31.3	399	20.3
５００人以下	107	6.9	25	7.3	3	4.7	135	6.9
５０１人以上	785	50.3	167	49.0	26	40.6	978	49.7
白紙	85	5.4	28	8.2	7	10.9	120	6.1
合計	1561	100.0	341	100.0	64	100.0	1966	100.0

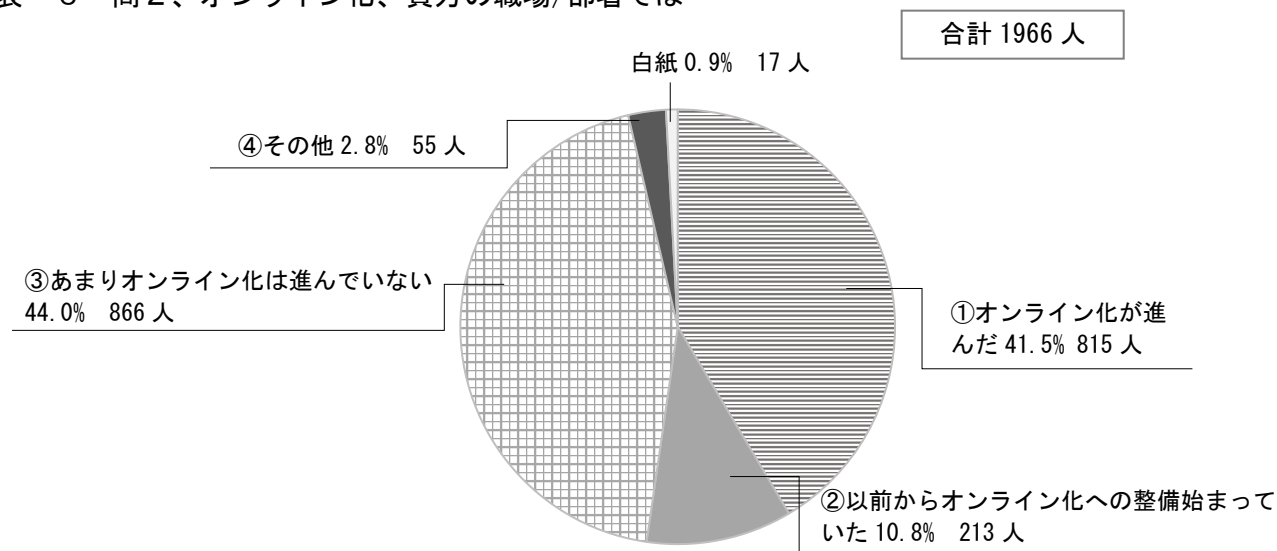
調査の結果

1、進むオンライン化

問2の「あなたの職場ではオンライン化が進んでいますか」について、「自分の職場や部署で進んだ」と答えた人は全体で41.5%にのぼり、「以前から始まっていた」とする人(10.8%)を合わせると半数以上の人の職場でオンライン化が「進んでいる」ことになります。ただ、「あまり進んでいない」職場・部署も44.0%あります。業種別にみると、「進んだ」「以前から始まっていた」合わせて半数以上なのは「教育・学習」(88.9%)「通信・情報」(67.1%)「製造」(64.4%)「卸・小売」(63.0%)「その他」(76.7%)で、逆に「あまり進んでいない」が多いのは「運輸・建設」(75.8%)「公務」(74.2%)「医療・福祉」(62.5%)「サービス業」(60.4%)です。

規模別にみると企業規模の大きいほどオンライン化が進んでいる傾向が示されています。事業所の規模が「501人以上」では「進んだ」が48.6%で「以前から始まっていた」(12.1%)を合わせると60%強になります。一方、事業所規模が「300人以下」「100人以下」「30人以下」の事業所ではオンライン化が「あまり進んでいない」が合わせて半数以上(54%)になっています。

表－6 問2、オンライン化、貴方の職場/部署では



表－7 同上（業種別）

	製造		卸・小売		運輸・建設		通信・情報		公務		教育・学習		医療・福祉		サービス業		その他	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①オンライン化が進んだ	430	54.4	43	58.9	48	16.2	67	42.4	30	15.5	16	59.3	1	12.5	42	26.4	131	55.5
②以前からオンライン化への整備始まっていた	79	10.0	3	4.1	7	2.4	39	24.7	8	4.1	8	29.6	1	12.5	17	10.7	50	21.2
③あまりオンライン化は進んでいない	255	32.2	26	35.6	225	75.8	49	31.0	144	74.2	3	11.1	5	62.5	96	60.4	50	21.2
④その他	20	2.5	1	1.4	15	5.1	2	1.3	10	5.2	0	0.0	1	12.5	3	1.9	2	0.8
白紙	7	0.9	0	0.0	2	0.7	1	0.6	2	1.0	0	0.0	0	0.0	1	0.6	3	1.3
合計	791	100.0	73	100.0	297	100.0	158	100.0	194	100.0	27	100.0	8	100.0	159	100.0	236	100.0

表－８ 同上（規模別）

	10人以下		30人以下		50人以下		100人以下		300人以下		500人以下		501人以上		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①オンライン化が進んだ	11	37.9	16	34.0	29	34.9	46	26.3	137	34.3	67	49.6	475	48.6	34	28.3	815	41.5
②以前からオンライン化への整備始まっていた	1	3.4	4	8.5	13	15.7	21	12.0	33	8.3	14	10.4	118	12.1	9	7.5	213	10.8
③あまりオンライン化は進んでいない	16	55.2	25	53.2	40	48.2	101	57.7	211	52.9	51	37.8	354	36.2	68	56.7	866	44.0
④その他	0	0.0	2	4.3	1	1.2	6	3.4	15	3.8	1	0.7	24	2.5	6	5.0	55	2.8
白紙	1	3.4	0	0.0	0	0.0	1	0.6	3	0.8	2	1.5	7	0.7	3	2.5	17	0.9
合計	29	100.0	47	100.0	83	100.0	175	100.0	399	100.0	135	100.0	978	100.0	120	100.0	1966	100.0

２、オンライン会議、６割以上の職場で実施

問３「あなたの職場でオンライン上で実施していること」について尋ねたところ、「オンライン会議」が実施されているという人は全体では1263人で64.2%にのびますが、問２で「オンライン化が進んだ」と答えた人の中では815人中762人で93.5%を占めます。次いで多い「リモート(在宅)ワーク」は全体では44.9%で、オンライン化が「進んだ」という人の中では74.7%、「オンライン学習・研修」では全体で28.5%、「進んだ」では41.5%と続きます。この傾向は事業所の規模に関わらず共通し、業種別ではオンライン化が「進んだ」「以前から始まっていた」の比率の高い業種では各事項とも高い比率を示しています。例えばオンライン化が「進んだ」の比率の高い業種の「教育・学習」では「オンライン会議」(88.9%)「オンライン学習・研修」(77.8%)など高い割合を占めています。他方で、「進んでいない」が多い「運輸・建設」の職場ではオンライン上での実施事項は少ないものの、「オンライン会議」は29.0%で実施されているように、実際には「進んでいない」とする職場でも「オンライン会議」をはじめ、リモートワーク、オンライン研修などオンラインを活用しての取り組みが少なからず行われているようです。

表－９ 問３、職場/部署でオンライン上実施している事項は？（業種別）

	製造		卸・小売		運輸・建設		通信・情報		公務		教育・学習		医療・福祉		サービス業		その他	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①オンライン会議	597	75.5	56	76.7	86	29.0	133	84.2	62	32.0	24	88.9	2	25.0	102	64.2	191	80.9
②オンライン面談	175	22.1	8	11.0	7	2.4	33	20.9	2	1.0	10	37.0	2	25.0	23	14.5	31	13.1
③オンライン商談	100	12.6	9	12.3	0	0.0	21	13.3	2	1.0	2	7.4	0	0.0	12	7.5	6	2.5
④オンライン採用面接	29	3.7	3	4.1	1	0.3	15	9.5	1	0.5	1	3.7	0	0.0	9	5.7	10	4.2
⑤リモートワーク	469	59.3	24	32.9	42	14.1	88	55.7	58	29.9	10	37.0	1	12.5	41	25.8	145	61.4
⑥オンライン学習・研修	289	36.5	13	17.8	19	6.4	65	41.1	33	17.0	21	77.8	3	37.5	25	15.7	90	38.1
⑦オンラインカウンセリング	26	3.3	0	0.0	0	0.0	11	7.0	0	0.0	2	7.4	1	12.5	4	2.5	16	6.8
⑧ない	160	20.2	16	21.9	183	61.6	17	10.8	81	41.8	0	0.0	4	50.0	41	25.8	22	9.3
⑨その他	4	0.5	0	0.0	2	0.7	0	0.0	1	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.4
白紙	1	0.1	0	0.0	5	1.7	0	0.0	4	2.1	1	3.7	0	0.0	1	0.6	0	0.0
合計	1850	233.9	129	176.7	345	116.2	383	242.4	244	125.8	71	263.0	13	162.5	258	162.3	512	216.9

表－10 同上(規模別)

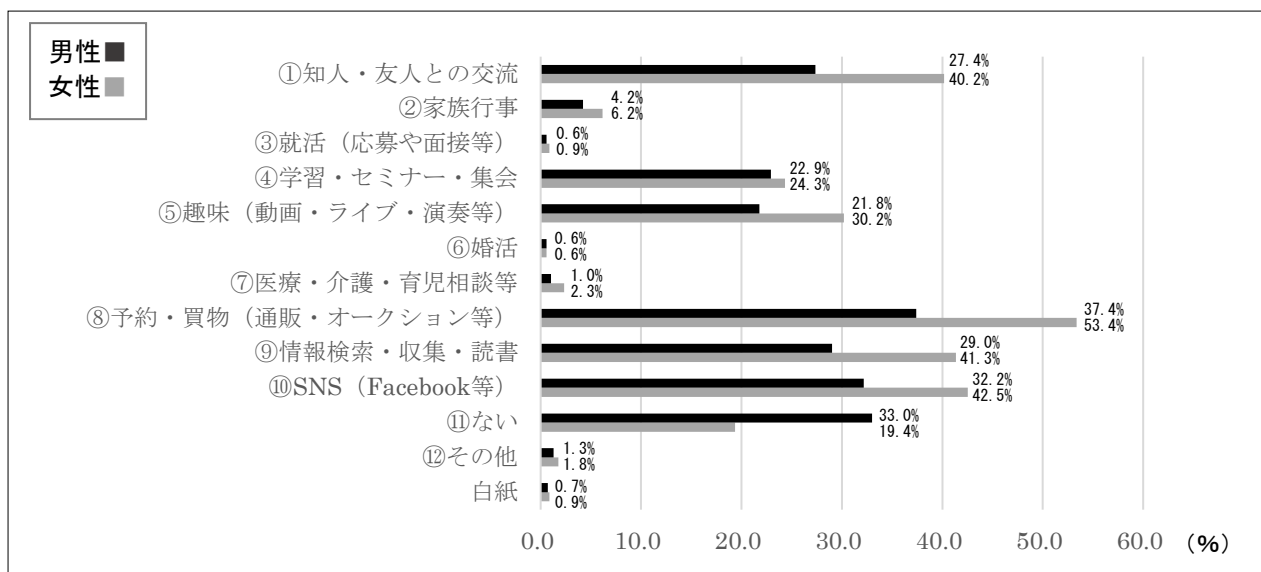
	10人以下		30人以下		50人以下		100人以下		300人以下		500人以下		501人以上		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①オンライン会議	24	82.8	29	61.7	42	50.6	93	53.1	213	53.4	101	74.8	707	72.3	54	45.0	1263	64.2
②オンライン面談	3	10.3	2	4.3	9	10.8	11	6.3	42	10.5	33	24.4	184	18.8	9	7.5	293	14.9
③オンライン商談	0	0.0	1	2.1	4	4.8	8	4.6	22	5.5	12	8.9	101	10.3	4	3.3	152	7.7
④オンライン採用面接	0	0.0	0	0.0	2	2.4	7	4.0	6	1.5	8	5.9	45	4.6	1	0.8	69	3.5
⑤リモートワーク	5	17.2	12	25.5	28	33.7	59	33.7	141	35.3	72	53.3	535	54.7	31	25.8	883	44.9
⑥オンライン学習・研修	7	24.1	9	19.1	15	18.1	38	21.7	85	21.3	45	33.3	349	35.7	12	10.0	560	28.5
⑦オンラインカウンセリング	0	0.0	0	0.0	5	6.0	2	1.1	17	4.3	7	5.2	27	2.8	2	1.7	60	3.1
⑧ない	4	13.8	14	29.8	26	31.3	60	34.3	152	38.1	30	22.2	195	19.9	54	45.0	535	27.2
⑨その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.6	1	0.3	0	0.0	3	0.3	3	2.5	8	0.4
白紙	1	3.4	0	0.0	0	0.0	1	0.6	3	0.8	0	0.0	6	0.6	3	2.5	14	0.7
合計	44	151.7	67	142.6	131	157.8	280	160.0	682	170.9	308	228.1	2152	220.0	173	144.2	3837	195.2

3、社会生活の中に浸透するオンライン

問4では社会生活の中で「オンライン上で経験したこと」を尋ねました。最も多いのは男女とも「予約・買物（通販等）」で、男性で37.4%、女性では53.4%を占めています。次いで男性では、「SNS（FB、ツイッター、インスタ等）」（32.2%）、「情報検索・読書」（29.0%）、「知人・友人との交流」（27.4%）と続き、女性では「SNS」（42.5%）、「情報検索・読書」（41.3%）、「知人・友人との交流」（40.2%）、「趣味（動画・ライブなど）」（30.2%）と続きますが、女性の方が利用度合いの高いことが示されています。経験したことが「ない」とする人は男性の方がその割合が高く、33.0%に及びます（女性では19.4%）。ただ、後述のように、スマホは殆どの人に普及しているようで、スマホでのメールやラインは日常生活の中に定着しているものと思われ、オンラインを活用した生活態様が広く浸透しているように思われます。

年代別にみると、若い世代で活用の頻度が高い様子がみてとれます。20代は372人中、オンライン上で、「知人・友人との交流をした」とする人は208人、55.9%に及びますが、50代では373人中56人、15.0%に留まります。同様に、20代と50代との対比では、「SNS」が20代では53.8%、50代では22.0%、「予約・買い物」では20代が48.1%、50代が34.0%となっています。経験したことが「ない」とする人は50代では43.4%にのびります。性別では女性の方が男性より経験頻度が高いようです。

表-11 問4、オンライン上で経験したことは？



4、家族内でも浸透するオンライン活用

問5では家族のオンライン上の経験を尋ねました。

家族の構成や事情によって異なると思われますが、全体の傾向として「予約・買物(通販等)」が最も多く31.8%で、「SNS」(27.4%)、「情報検索・収集・読書」(24.0%)、「趣味(動画・ライブ等)」(20.2%)と続きます。経験が「ない」は本人よりも多く、38.1%にのびります。家族においても何らかの形のオンライン活用が6割以上にのび、家庭内にも広くオンライン活用が浸透していることを示しています。

表-12 問5、ご家族がオンライン上で経験されたことは？（性別・年代別）

	男性		女性		白紙		合計		10代		20代		30代		40代		50代		60代		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①知人・友人との交流	271	17.4	93	27.3	9	14.1	373	19.0	1	8.3	104	28.0	125	24.4	58	10.1	69	18.5	10	13.5	6	13.3	373	19.0
②家族行事	53	3.4	20	5.9	0	0.0	73	3.7	0	0.0	15	4.0	35	6.8	16	2.8	5	1.3	2	2.7	0	0.0	73	3.7
③就活（応募や面接等）	41	2.6	14	4.1	1	1.6	56	2.8	2	16.7	13	3.5	7	1.4	8	1.4	24	6.4	1	1.4	1	2.2	56	2.8
④学習・セミナー・集会	243	15.6	51	15.0	9	14.1	303	15.4	0	0.0	31	8.3	57	11.1	104	18.0	95	25.5	9	12.2	7	15.6	303	15.4
⑤趣味（動画・ライブ・演奏等）	308	19.7	84	24.6	6	9.4	398	20.2	4	33.3	87	23.4	124	24.2	93	16.1	77	20.6	8	10.8	5	11.1	398	20.2
⑥婚活	2	0.1	1	0.3	0	0.0	3	0.2	0	0.0	0	0.0	1	0.2	0	0.0	1	0.3	1	1.4	0	0.0	3	0.2
⑦医療・介護・育児相談等	16	1.0	8	2.3	1	1.6	25	1.3	1	8.3	4	1.1	10	1.9	4	0.7	4	1.1	1	1.4	1	2.2	25	1.3
⑧予約・買物（通販・オークション等）	466	29.9	143	41.9	17	26.6	626	31.8	1	8.3	131	35.2	184	35.9	156	27.0	120	32.2	18	24.3	16	35.6	626	31.8
⑨情報検索・収集・読書	359	23.0	101	29.6	12	18.8	472	24.0	1	8.3	94	25.3	153	29.8	113	19.6	89	23.9	12	16.2	10	22.2	472	24.0
⑩SNS (Facebook等)	417	26.7	108	31.7	13	20.3	538	27.4	1	8.3	125	33.6	160	31.2	135	23.4	95	25.5	12	16.2	10	22.2	538	27.4
⑪ない	621	39.8	101	29.6	27	42.2	749	38.1	7	58.3	114	30.6	173	33.7	254	44.0	149	39.9	37	50.0	15	33.3	749	38.1
⑫その他	21	1.3	9	2.6	1	1.6	31	1.6	0	0.0	8	2.2	10	1.9	9	1.6	0	0.0	2	2.7	2	4.4	31	1.6
白紙	29	1.9	3	0.9	2	3.1	34	1.7	0	0.0	11	3.0	9	1.8	5	0.9	6	1.6	1	1.4	2	4.4	34	1.7
合計	2847	182.4	736	215.8	98	153.1	3681	187.2	18	150.0	737	198.1	1048	204.3	955	165.5	734	196.8	114	154.1	75	166.7	3681	187.2

5、「してみたいこと」、「特にない」が5割弱

問6ではオンライン上でしてみたいことを聞きました。前々問と同じ選択肢での設問ですが、既に「したいことには挑戦している」ということなのか、「特にない」が48.9%と半数近くあり、してみたいことのトップは「趣味(動画・ライブ・演奏等)」ですが、その割合は21.2%に留まります。これらの傾向は性別にも年代別にも共通しています。他では「知人・友人との交流(飲み会・食事会・同窓会等)」(20.4%)、「学習・セミナー・集会」(15.6%)などです。

問4の「オンライン上で経験したこと」が「ない」人に絞って、「してみたいこと」の集計をしてみると、「特にない」が70.3%にのぼり、オンライン活用を経験している人よりもしてみたい気持ちは低いようで、年代別にも同じような傾向が示されています。

表-13 問6、今後オンライン上でしてみたいことは？(性別・年代別)

	男性		女性		白紙		合計		10代		20代		30代		40代		50代		60代		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①知人・友人との交流	316	20.2	70	20.5	15	23.4	401	20.4	4	33.3	89	23.9	119	23.2	100	17.3	75	20.1	7	9.5	7	15.6	401	20.4
②家族行事	93	6.0	18	5.3	3	4.7	114	5.8	0	0.0	32	8.6	33	6.4	27	4.7	18	4.8	2	2.7	2	4.4	114	5.8
③就活(応募や面接等)	11	0.7	5	1.5	0	0.0	16	0.8	0	0.0	6	1.6	5	1.0	2	0.3	3	0.8	0	0.0	0	0.0	16	0.8
④学習・セミナー・集会	237	15.2	60	17.6	9	14.1	306	15.6	2	16.7	61	16.4	89	17.3	78	13.5	58	15.5	11	14.9	7	15.6	306	15.6
⑤趣味(動画・ライブ・演奏等)	320	20.5	86	25.2	10	15.6	416	21.2	3	25.0	82	22.0	109	21.2	116	20.1	86	23.1	14	18.9	6	13.3	416	21.2
⑥婚活	32	2.0	2	0.6	3	4.7	37	1.9	0	0.0	8	2.2	11	2.1	13	2.3	3	0.8	0	0.0	2	4.4	37	1.9
⑦医療・介護・育児相談等	111	7.1	31	9.1	6	9.4	148	7.5	0	0.0	33	8.9	38	7.4	34	5.9	33	8.8	4	5.4	6	13.3	148	7.5
⑧予約・買物(通販・オークション等)	190	12.2	54	15.8	8	12.5	252	12.8	3	25.0	41	11.0	55	10.7	78	13.5	62	16.6	11	14.9	2	4.4	252	12.8
⑨情報検索・収集・読書	165	10.6	45	13.2	6	9.4	216	11.0	0	0.0	39	10.5	66	12.9	57	9.9	37	9.9	13	17.6	4	8.9	216	11.0
⑩SNS(Facebook等)	110	7.0	29	8.5	8	12.5	147	7.5	0	0.0	39	10.5	32	6.2	37	6.4	29	7.8	6	8.1	4	8.9	147	7.5
⑪特にない	783	50.2	149	43.7	30	46.9	962	48.9	7	58.3	176	47.3	237	46.2	305	52.9	181	48.5	35	47.3	21	46.7	962	48.9
⑫その他	5	0.3	3	0.9	0	0.0	8	0.4	0	0.0	1	0.3	2	0.4	2	0.3	1	0.3	1	1.4	1	2.2	8	0.4
白紙	25	1.6	15	4.4	1	1.6	41	2.1	0	0.0	4	1.1	13	2.5	14	2.4	7	1.9	2	2.7	1	2.2	41	2.1
合計	2398	153.6	567	166.3	99	154.7	3064	155.8	19	158.3	611	164.2	809	157.7	863	149.6	593	159.0	106	143.2	63	140.0	3064	155.8

6、インターネット設備、オンライン会議ソフトは5割弱で

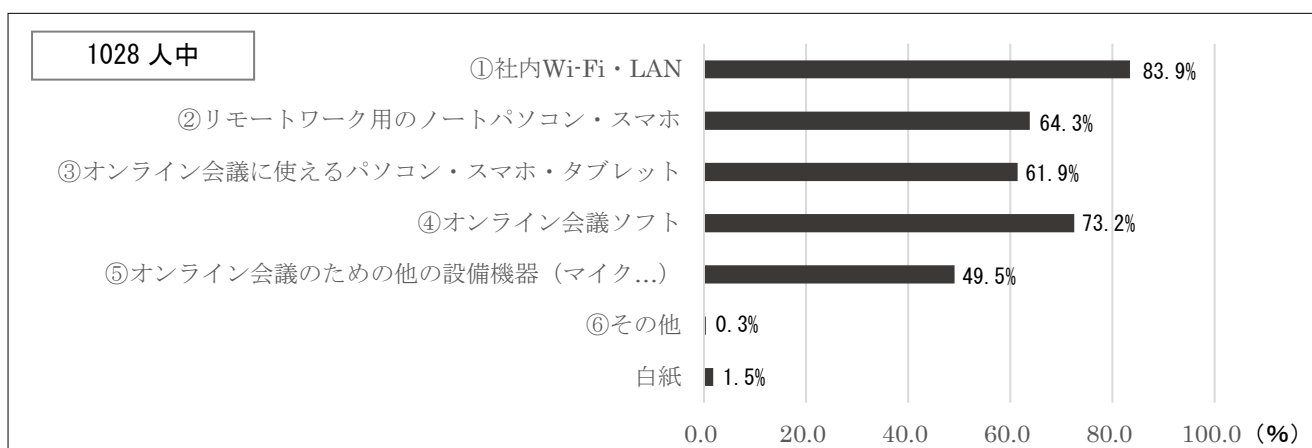
次に、インターネット設備について尋ねてみました(問7)。最初に勤務先の職場や部署で整備されているインターネット設備について聞いたところ、「社内 Wi-Fi・LAN」が最も多く 66.9%、次いで「オンライン会議ソフト」(48.6%)、「オンライン会議に使えるPC、タブレット」(42.5%)、「リモートワーク用PC、タブレット」(39.3%)と続きます。特に、問2で、「オンライン化が進んだ」という比率の高い業種で、設備の整備も進んでいるようです。「通信・情報」や「教育・学習支援」の職場では設備的な環境は行き渡っているようです。(表-15)

表－14 問7-設備 あなたの職場/部署で整備されているものは？（業種別）

	製造		卸・小売		運輸・建設		通信・情報		公務		教育・学習		医療・福祉		サービス業		その他	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①社内Wi-Fi、LAN	610	77.1	54	74.0	120	40.4	130	82.3	87	44.8	25	92.6	5	62.5	84	52.8	193	81.8
②リモートワーク用のノートパソコン・スマホ	421	53.2	20	27.4	34	11.4	70	44.3	43	22.2	6	22.2	3	37.5	46	28.9	125	53.0
③オンライン会議に使えるパソコン・スマホ・タブレット	415	52.5	35	47.9	43	14.5	89	56.3	46	23.7	7	25.9	3	37.5	63	39.6	130	55.1
④オンライン会議ソフト	536	67.8	38	52.1	48	16.2	74	46.8	50	25.8	16	59.3	4	50.0	64	40.3	119	50.4
⑤オンライン会議のための他の設備機器（マイク・・・）	356	45.0	14	19.2	32	10.8	75	47.5	31	16.0	5	18.5	1	12.5	28	17.6	104	44.1
⑥その他	29	3.7	1	1.4	46	15.5	0	0.0	9	4.6	0	0.0	0	0.0	6	3.8	5	2.1
白紙	55	7.0	7	9.6	88	29.6	8	5.1	56	28.9	0	0.0	1	12.5	22	13.8	16	6.8
合計	2422	306.2	169	231.5	411	138.4	446	282.3	322	166.0	59	218.5	17	212.5	313	196.9	692	293.2

表－15 問7-設備 あなたの職場/部署で整備されているものは？

（問2で回答①・②と答えた1028人中）



他方、職場の環境で整備が進んでいることとしては、「リモートワークがしやすいフレックスタイム」（29.2%）、「オンライン対応知識をもった人材（配置）」（28.1%）、「リモートワーク用連絡システム」（21.2%）と続きますが、問2で「オンライン化が進んだ」「以前から整備は始まっていた」という人の中では、設備、環境とも高い割合になっています。

表－16 問7-環境、あなたの職場/部署で整備されているものは？（業種別）

	製造		卸・小売		運輸・建設		通信・情報		公務		教育・学習		医療・福祉		サービス業		その他	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
⑦オンライン対応知識を持った人材	287	36.3	26	35.6	26	8.8	67	42.4	27	13.9	13	48.1	4	50.0	26	16.4	72	30.5
⑧リモート（在宅）ワークがしやすいフレックスタイム	298	37.7	16	21.9	19	6.4	75	47.5	11	5.7	4	14.8	0	0.0	26	16.4	122	51.7
⑨リモート（在宅）ワーク用の連絡システム	239	30.2	10	13.7	17	5.7	61	38.6	17	8.8	5	18.5	1	12.5	13	8.2	52	22.0
⑩一応全体的に整備はされているが、不十分	164	20.7	9	12.3	43	14.5	31	19.6	45	23.2	9	33.3	1	12.5	36	22.6	29	12.3
⑪何も整っていない	146	18.5	22	30.1	178	59.9	21	13.3	84	43.3	1	3.7	4	50.0	63	39.6	24	10.2
⑫その他	23	2.9	1	1.4	13	4.4	3	1.9	1	0.5	2	7.4	0	0.0	4	2.5	6	2.5
白紙	52	6.6	5	6.8	25	8.4	5	3.2	28	14.4	2	7.4	0	0.0	12	7.5	28	11.9
合計	1209	152.8	89	121.9	321	108.1	263	166.5	213	109.8	36	133.3	10	125.0	180	113.2	333	141.1

表－17 問7-環境 あなたの職場/部署で整備されているものは？

(問2で回答①・②とのクロス)

	最近オンライン化が進んだ		以前から整備は始まっていた		合計	
	人	%	人	%	人	%
⑦オンライン対応知識を持った人材	351	43.1	108	50.7	459	44.6
⑧リモート(在宅)ワークがしやすいフレックスタイム	395	48.5	131	61.5	526	51.1
⑨リモート(在宅)ワーク用の連絡システム	296	36.3	91	42.7	387	37.6
⑩一応全体的に整備はされているが、不十分	168	20.6	28	13.1	196	19.1
⑪何も整っていない	32	3.9	3	1.4	35	3.4
⑫その他	8	1.0	3	1.4	11	1.1
	59	7.2	14	6.6	73	7.1
	815 人中		213 人中		1028 人中	

7、自宅に「Wi-Fi 設置」が86.1%

問8では、自宅に整備されているインターネット機器について聞きました。「Wi-Fi・LAN」が最も多く86.1%に達し、「スマホ」は71.3%にとどまっています。ただ、選択肢に「自分のノートパソコン・スマホ・タブレット」もあり、63.9%に及ぶので、「スマホ」の普及率は相当高いと思われます。「何もない」はわずか3.2%に留まり、中でも女性の中では1.2%に留まります。一方、60代以上では9.5%と1割近くが「何もない」と答えています。内閣府が行っている「消費動向調査」では、スマホの普及率は若年層で98.5%、高齢者も含めた全体でも85.4%（いずれも2020年11月調査）に達しており、今回の調査対象者のところではほぼ全体に普及しているものと思われます。

表－18 問8、貴方の自宅に整備されているものは？（性別・年代別）

	男性		女性		白紙		合計		10代		20代		30代		40代		50代		60代		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①Wi-Fi・LAN	1351	86.5	299	87.7	42	65.6	1692	86.1	11	91.7	336	90.3	457	89.1	494	85.6	316	84.7	47	63.5	31	68.9	1692	86.1
②自分のノートパソコン・スマホ・タブレット	1020	65.3	201	58.9	35	54.7	1256	63.9	4	33.3	251	67.5	341	66.5	354	61.4	237	63.5	46	62.2	23	51.1	1256	63.9
③家族のノートパソコン・スマホ・タブレット	589	37.7	162	47.5	19	29.7	770	39.2	4	33.3	115	30.9	187	36.5	235	40.7	174	46.6	38	51.4	17	37.8	770	39.2
④スマホ	1108	71.0	255	74.8	39	60.9	1402	71.3	7	58.3	281	75.5	389	75.8	407	70.5	249	66.8	41	55.4	28	62.2	1402	71.3
⑤オンライン会議ソフト(Zoom・Google・Meet・Teams等)	373	23.9	87	25.5	13	20.3	473	24.1	3	25.0	124	33.3	120	23.4	115	19.9	87	23.3	14	18.9	10	22.2	473	24.1
⑥オンライン作業をする専用空間	128	8.2	28	8.2	3	4.7	159	8.1	0	0.0	30	8.1	49	9.6	34	5.9	41	11.0	4	5.4	1	2.2	159	8.1
⑦何もない	54	3.5	4	1.2	4	6.3	62	3.2	1	8.3	5	1.3	11	2.1	20	3.5	16	4.3	7	9.5	2	4.4	62	3.2
⑧その他	3	0.2	1	0.3	0	0.0	4	0.2	0	0.0	0	0.0	1	0.2	2	0.3	1	0.3	0	0.0	0	0.0	4	0.2
白紙	14	0.9	3	0.9	4	6.3	21	1.1	0	0.0	8	2.2	4	0.8	5	0.9	0	0.0	1	1.4	4	8.9	22	1.1
合計	4640	297.2	1040	305.0	159	248.4	5839	297.0	30	250.0	1150	309.1	1559	303.9	1666	288.7	1121	300.5	198	267.6	116	257.8	5840	297.0

6、オンライン化、評価は二分

問9以降では「オンライン化についてのメリット、デメリット」について聞きました。まず、仕事面でオンライン化が進んで「よかったこと」について、問2で「オンライン化が進んでいる」という方では「通勤時間が不要／短縮」(70.1%)、「コロナの感染リスクが減った」(56.9%)、「通勤時の混雑から解放された」(36.9%)などと、一定の評価はあるものの、「仕事がはかどる」(20.0%)、「家事と仕事両立できる」(19.5%)をはじめ、「気が楽」「イライラやストレスがない」「情報の共有化が進んだ」(いずれも1桁)など必ずしも好評価にはなっていません。

表－19 問9-仕事面 オンライン化になってよかったことは？（性別・年代別）

	男性		女性		白紙		合計		10代		20代		30代		40代		50代		60代		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①通勤時間が不要／短縮	730	46.8	166	48.7	21	32.8	917	46.6	5	41.7	208	55.9	258	50.3	243	42.1	164	44.0	24	32.4	15	33.3	917	46.6
②通勤時の混雑から解放された	401	25.7	98	28.7	15	23.4	514	26.1	1	8.3	107	28.8	129	25.1	139	24.1	113	30.3	13	17.6	12	26.7	514	26.1
③新型コロナウイルスの感染リスクが減った	602	38.6	154	45.2	20	31.3	776	39.5	1	8.3	155	41.7	211	41.1	207	35.9	166	44.5	19	25.7	17	37.8	776	39.5
④出張が減った	286	18.3	53	15.5	5	7.8	344	17.5	1	8.3	48	12.9	112	21.8	89	15.4	81	21.7	10	13.5	3	6.7	344	17.5
⑤必要な要件だけ話すので、対面よりも気が楽	119	7.6	15	4.4	4	6.3	138	7.0	0	0.0	23	6.2	48	9.4	38	6.6	25	6.7	2	2.7	2	4.4	138	7.0
⑥職場で雑務をする必要がない	165	10.6	44	12.9	4	6.3	213	10.8	0	0.0	47	12.6	67	13.1	61	10.6	30	8.0	4	5.4	4	8.9	213	10.8
⑦仕事がはかどる	176	11.3	53	15.5	4	6.3	233	11.9	0	0.0	57	15.3	65	12.7	54	9.4	47	12.6	7	9.5	3	6.7	233	11.9
⑧情報の共有化が進んだ	93	6.0	20	5.9	2	3.1	115	5.8	0	0.0	25	6.7	39	7.6	29	5.0	18	4.8	2	2.7	2	4.4	115	5.8
⑨家事都合が入っても、仕事と両立できる	190	12.2	66	19.4	7	10.9	263	13.4	1	8.3	51	13.7	89	17.3	58	10.1	49	13.1	8	10.8	7	15.6	263	13.4
⑩職場でのイライラやストレスがない	115	7.4	29	8.5	3	4.7	147	7.5	0	0.0	29	7.8	41	8.0	34	5.9	36	9.7	3	4.1	4	8.9	147	7.5
⑪昼食代がかからない	87	5.6	16	4.7	2	3.1	105	5.3	1	8.3	24	6.5	26	5.1	28	4.9	20	5.4	2	2.7	4	8.9	105	5.3
⑫その他	239	15.3	31	9.1	12	18.8	282	14.3	3	25.0	43	11.6	61	11.9	103	17.9	60	16.1	7	9.5	5	11.1	282	14.3
白紙	262	16.8	78	22.9	15	23.4	355	18.1	3	25.0	51	13.7	80	15.6	107	18.5	72	19.3	29	39.2	13	28.9	355	18.1
合計	3465	222.0	823	241.3	114	178.1	4402	223.9	16	133.3	868	233.3	1226	239.0	1190	206.2	881	236.2	130	175.7	91	202.2	4402	223.9

表－20 同上（業種別）

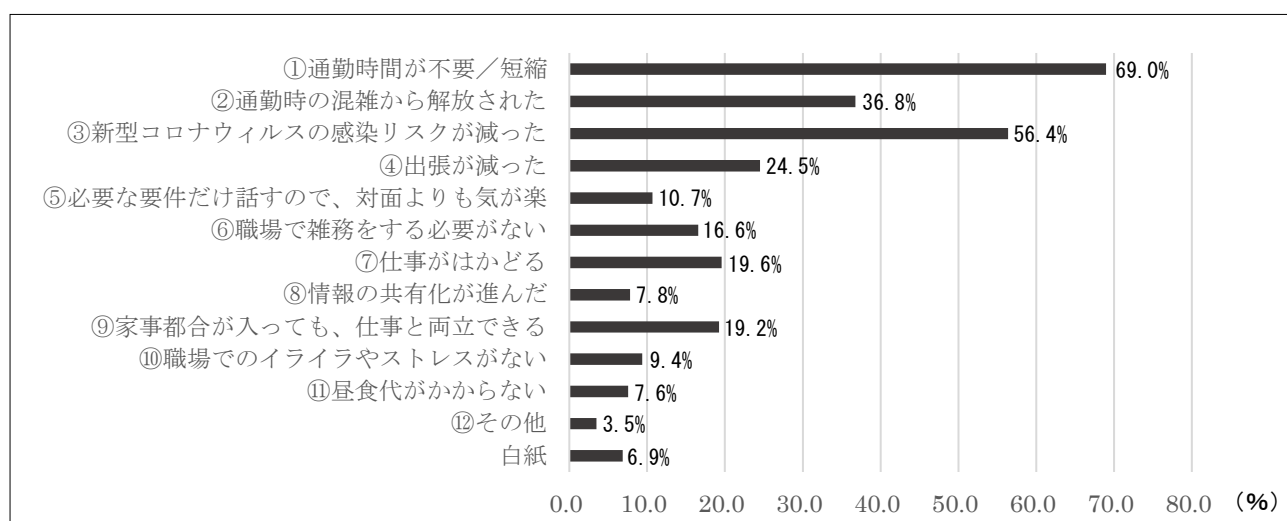
	製造		卸・小売		運輸・建設		通信・情報		公務		教育・学習		医療・福祉		サービス業		その他	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①通勤時間が不要／短縮	457	57.8	29	39.7	60	20.2	99	62.7	53	27.3	12	44.4	2	25.0	48	30.2	154	65.3
②通勤時の混雑から解放された	235	29.7	7	9.6	28	9.4	76	48.1	41	21.1	5	18.5	1	12.5	26	16.4	92	39.0
③新型コロナウイルスの感染リスクが減った	379	47.9	21	28.8	53	17.8	76	48.1	54	27.8	18	66.7	2	25.0	52	32.7	118	50.0
④出張が減った	161	20.4	17	23.3	24	8.1	23	14.6	20	10.3	14	51.9	0	0.0	38	23.9	45	19.1
⑤必要な要件だけ話すので、対面よりも気が楽	64	8.1	5	6.8	14	4.7	8	5.1	7	3.6	4	14.8	0	0.0	12	7.5	24	10.2
⑥職場で雑務をする必要がない	118	14.9	6	8.2	16	5.4	12	7.6	10	5.2	3	11.1	0	0.0	11	6.9	38	16.1
⑦仕事がはかどる	129	16.3	4	5.5	11	3.7	18	11.4	11	5.7	6	22.2	0	0.0	12	7.5	41	17.4
⑧情報の共有化が進んだ	59	7.5	9	12.3	9	3.0	7	4.4	8	4.1	2	7.4	0	0.0	10	6.3	10	4.2
⑨家事都合が入っても、仕事と両立できる	137	17.3	4	5.5	10	3.4	27	17.1	10	5.2	3	11.1	0	0.0	12	7.5	57	24.2
⑩職場でのイライラやストレスがない	70	8.8	1	1.4	13	4.4	15	9.5	7	3.6	1	3.7	0	0.0	11	6.9	29	12.3
⑪昼食代がかからない	44	5.6	4	5.5	5	1.7	17	10.8	4	2.1	1	3.7	0	0.0	10	6.3	20	8.5
⑫その他	99	12.5	10	13.7	77	25.9	9	5.7	35	18.0	3	11.1	1	12.5	20	12.6	21	8.9
白紙	98	12.4	15	20.5	100	33.7	16	10.1	51	26.3	2	7.4	4	50.0	37	23.3	23	9.7
合計	2050	259.2	132	180.8	420	141.4	403	255.1	311	160.3	74	274.1	10	125.0	299	188.1	672	284.7

表-21 同上（業務内容別）

	接客・販売・営業・事務		看護・介護・保育		製造		建設・輸送・運転		保安・施設管理		運搬・清掃・包装		教員・セミナー講師		研究・技術等専門職		その他	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①通勤時間が不要／短縮	372	48.1	0	0.0	99	32.8	38	17.3	33	45.2	2	8.0	7	58.3	264	75.6	78	51.3
②通勤時の混雑から解放された	212	27.4	2	50.0	46	15.2	29	13.2	17	23.3	3	12.0	3	25.0	145	41.5	39	25.7
③新型コロナウイルスの感染リスクが減った	323	41.8	0	0.0	84	27.8	37	16.8	29	39.7	3	12.0	7	58.3	218	62.5	56	36.8
④出張が減った	144	18.6	1	25.0	41	13.6	15	6.8	18	24.7	2	8.0	7	58.3	84	24.1	28	18.4
⑤必要な要件だけ話すので、対面よりも気が楽	53	6.9	0	0.0	16	5.3	11	5.0	4	5.5	0	0.0	3	25.0	36	10.3	12	7.9
⑥職場で雑務をする必要がない	85	11.0	0	0.0	22	7.3	8	3.6	11	15.1	0	0.0	2	16.7	66	18.9	16	10.5
⑦仕事のはかどる	95	12.3	0	0.0	18	6.0	8	3.6	10	13.7	1	4.0	2	16.7	78	22.3	14	9.2
⑧情報の共有化が進んだ	56	7.2	0	0.0	14	4.6	5	2.3	1	1.4	4	16.0	1	8.3	26	7.4	8	5.3
⑨家事都合が入っても、仕事と両立できる	116	15.0	0	0.0	21	7.0	4	1.8	6	8.2	1	4.0	2	16.7	79	22.6	24	15.8
⑩職場でのイライラやストレスがない	66	8.5	0	0.0	16	5.3	6	2.7	8	11.0	1	4.0	0	0.0	36	10.3	10	6.6
⑪昼食代がかからない	47	6.1	0	0.0	9	3.0	7	3.2	3	4.1	1	4.0	1	8.3	29	8.3	5	3.3
⑫その他	83	10.7	0	0.0	74	24.5	62	28.2	8	11.0	6	24.0	1	8.3	14	4.0	27	17.8
白紙	144	18.6	1	25.0	67	22.2	78	35.5	10	13.7	9	36.0	1	8.3	13	3.7	17	11.2

表-22 問9-仕事面 オンライン化になってよかったことは？

(問2で「進んでいる」と答えた815人中)



他方で、「生活面」での評価をみると、同様に「オンライン化が進んだ」という人の中では、「余暇時間が増えた」が42.3%と一定の評価があるものの、「余暇が充実した」(16.6%)、「家族とのコミュニケーションが増えた」(24.2%)など、「生活面」でもあまり芳しい評価にはなっていません。

朝日新聞(2021年1月2日付)が「コロナ下での生活の変化」について世論調査を実施。それによると、オンラインが普及しているが、「利用が増えたもの」では「買い物」「友人・知人とのやりとり」がともに24%で最多。次いで「会議や打ち合わせ」(19%)、「遠方にいる家族とのやりとり」(15%)と続き、「ない」は38%。コロナ収束後も利用するかどうかでは、「公的申請など手続きや仕

事はオンライン中心でいいが、私的な付き合いや買い物は、やはり直接顔を合わせた方がいい」との傾向が報告されています。

表-23 問9-生活面 オンライン化になってよかったことは？（性別・年代別）

	男性		女性		白紙		合計		10代		20代		30代		40代		50代		60代		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
⑬余暇時間が増えた	459	29.4	97	28.4	17	26.6	573	29.1	2	16.7	164	44.1	161	31.4	119	20.6	102	27.3	14	18.9	11	24.4	573	29.1
⑭余暇が充実した	208	13.3	38	11.1	9	14.1	255	13.0	3	25.0	76	20.4	70	13.6	64	11.1	32	8.6	5	6.8	5	11.1	255	13.0
⑮家族とのコミュニケーションが増えた	285	18.3	47	13.8	12	18.8	344	17.5	0	0.0	53	14.2	119	23.2	90	15.6	68	18.2	6	8.1	8	17.8	344	17.5
⑯遠くのイベント・セミナー・講座に参加可能になった	131	8.4	42	12.3	3	4.7	176	9.0	0	0.0	42	11.3	56	10.9	40	6.9	30	8.0	5	6.8	3	6.7	176	9.0
⑰会場までの往復時間と交通費がかからない	332	21.3	78	22.9	7	10.9	417	21.2	0	0.0	81	21.8	109	21.2	115	19.9	86	23.1	18	24.3	8	17.8	417	21.2
⑱その他	226	14.5	28	8.2	10	15.6	264	13.4	3	25.0	32	8.6	59	11.5	101	17.5	60	16.1	4	5.4	5	11.1	264	13.4
白紙	435	27.9	124	36.4	24	37.5	583	29.7	4	33.3	99	26.6	142	27.7	169	29.3	116	31.1	34	45.9	19	42.2	583	29.7
合計	2076	133.0	454	133.1	82	128.1	2612	132.9	12	100.0	547	147.0	716	139.6	698	121.0	494	132.4	86	116.2	59	131.1	2612	132.9

表-24 問9-生活面 オンライン化になってよかったことは？（問2で回答①とのクロス）

	最近オンライン化が進んだ	
	人	%
⑬余暇時間が増えた	345	42.3
⑭余暇が充実した	135	16.6
⑮家族とのコミュニケーションが増えた	197	24.2
⑯遠くのイベント・セミナー・講座に参加可能になった	92	11.3
⑰会場までの往復時間と交通費がかからない	225	27.6
⑱その他	35	4.3
白紙	180	22.1
	815人中	

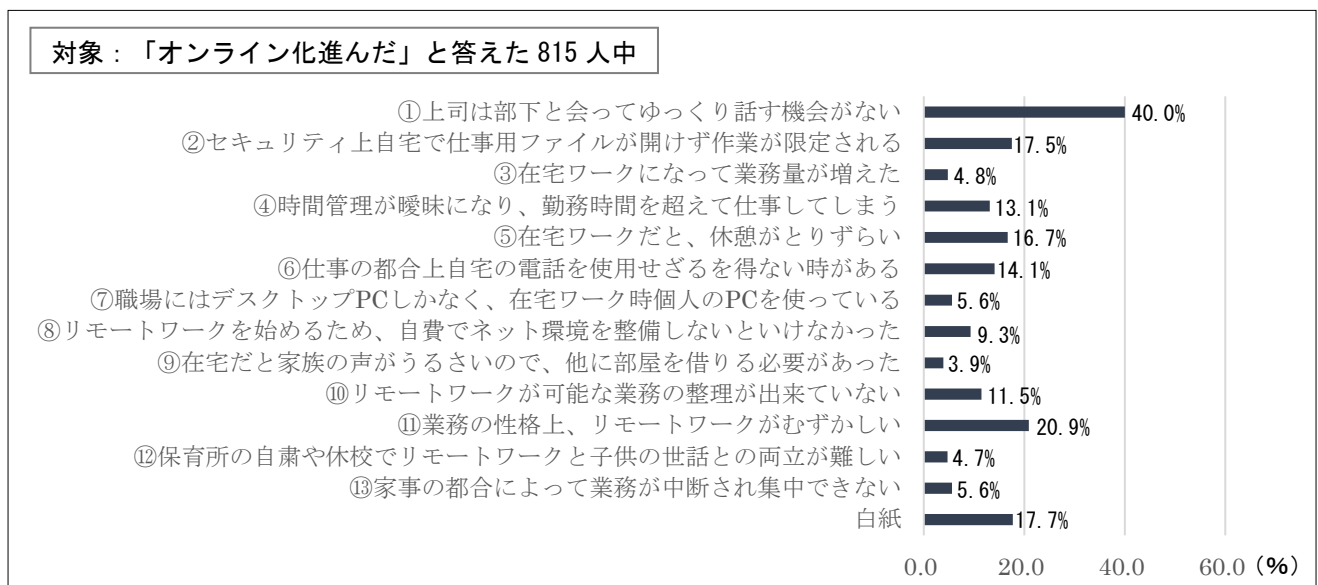
7、健康面での不安が強いオンライン化

次に、問10で「困ったこと・不満な点」を尋ねました。最初に「仕事面」では、全体で「上司や部下と会ってゆっくり話す機会がない」が最も多く 27.1%、次いで「業務の性格上、在宅ワークが難しい」(20.9%)、「セキュリティのため在宅で出来ることが限定される」(14.4%)、「休憩がとりづらい」(11.0%)と続き、「白紙」が 34.6%に及びます。「オンライン化が進んだ」という人に限っても、同様に 40.0%、20.9%、17.5%、16.7%と、全体より少しだけ高い比率に留まっています。このように、「仕事面」でのオンライン化の評価は高くなく、又、「困ったこと・不満な点」も、該当するものすべてに○を、となっている設問にもかかわらず、一人当たりの選択項目は 1.85 に留まっていて、「デメリット」意識も高くなく、「仕事面」での評価はしにくいのかもかもしれません。

表-25 問10-仕事面 オンライン化になって困ったこと・不満な点は(性別・年代別)

	男性		女性		白紙		合計		10代		20代		30代		40代		50代		60代		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①上司は部下と会ってゆっくり話す機会がない	429	27.5	88	25.8	16	25.0	533	27.1	5	41.7	128	34.4	155	30.2	131	22.7	92	24.7	11	14.9	11	24.4	533	27.1
②セキュリティ上自宅で仕事用ファイルが開けず作業が限定される	213	13.6	63	18.5	8	12.5	284	14.4	0	0.0	72	19.4	74	14.4	71	12.3	53	14.2	4	5.4	10	22.2	284	14.4
③在宅ワークになって業務量が増えた	56	3.6	7	2.1	2	3.1	65	3.3	0	0.0	12	3.2	13	2.5	15	2.6	20	5.4	1	1.4	4	8.9	65	3.3
④時間管理が曖昧になり、勤務時間を超過して仕事してしまう	143	9.2	24	7.0	6	9.4	173	8.8	1	8.3	18	4.8	57	11.1	46	8.0	42	11.3	7	9.5	2	4.4	173	8.8
⑤在宅ワークだと、休憩がとりづらい	157	10.1	55	16.1	4	6.3	216	11.0	2	16.7	45	12.1	53	10.3	67	11.6	41	11.0	4	5.4	4	8.9	216	11.0
⑥仕事の都合上自宅の電話を使用せざるを得ない時がある	129	8.3	46	13.5	5	7.8	180	9.2	0	0.0	38	10.2	56	10.9	37	6.4	38	10.2	5	6.8	6	13.3	180	9.2
⑦職場にはデスクトップPCしかなく、在宅ワーク時個人のPCを使っている	66	4.2	23	6.7	1	1.6	90	4.6	1	8.3	11	3.0	16	3.1	24	4.2	26	7.0	11	14.9	1	2.2	90	4.6
⑧リモートワークを始めるため、自費でネット環境を整備しないとけなかった	102	6.5	22	6.5	2	3.1	126	6.4	1	8.3	21	5.6	33	6.4	31	5.4	37	9.9	3	4.1	0	0.0	126	6.4
⑨在宅だと家族の声がうるさいので、他に部屋を借りる必要があった	56	3.6	4	1.2	0	0.0	60	3.1	1	8.3	6	1.6	18	3.5	20	3.5	13	3.5	2	2.7	0	0.0	60	3.1
⑩リモートワークが可能な業務の整理が出来ていない	167	10.7	33	9.7	7	10.9	207	10.5	0	0.0	44	11.8	64	12.5	56	9.7	31	8.3	8	10.8	4	8.9	207	10.5
⑪業務の性格上、リモートワークがむずかしい	327	20.9	75	22.0	8	12.5	410	20.9	0	0.0	84	22.6	110	21.4	117	20.3	84	22.5	9	12.2	6	13.3	410	20.9
⑫保育所の自粛や休校でリモートワークと子供の世話との両立が難しい	45	2.9	17	5.0	1	1.6	63	3.2	0	0.0	3	0.8	29	5.7	21	3.6	7	1.9	1	1.4	2	4.4	63	3.2
⑬家事の都合によって業務が中断され集中できない	74	4.7	12	3.5	6	9.4	92	4.7	0	0.0	9	2.4	24	4.7	35	6.1	19	5.1	1	1.4	4	8.9	92	4.7
白紙	546	35.0	106	31.1	29	45.3	681	34.6	6	50.0	110	29.6	155	30.2	217	37.6	141	37.8	34	45.9	18	40.0	681	34.6
合計	2510	160.8	575	168.6	95	148.4	3180	161.7	17	141.7	601	161.6	857	167.1	888	153.9	644	172.7	101	136.5	72	160.0	3180	161.7

表-26 問10-仕事面 オンライン化になって困ったこと・不満な点は
(問2で回答①と答えた815人中)



次に心身の健康面への影響を聞いてみると、全体とオンライン化が進んだと言う人それぞれ、「目

が疲れる」(27.6%,35.1%)、「筋力が衰え足腰が弱りやすい」(28.6%,40.5%)、「腰痛になりやすい」(21.7%,33.4%)、「仕事と生活の区別やメリハリがつけにくい」(23.7%,31.8%)と続き、健康面ではかなりのマイナス影響が受け止められています。

表－27 問 10-心身の健康面 オンライン化になって困ったこと・不満な点は(性別・年代別)

	男性		女性		白紙		合計		10代		20代		30代		40代		50代		60代		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
⑭画面を長時間見続けるので、目が疲れる	417	26.7	107	31.4	18	28.1	542	27.6	3	25.0	108	29.0	141	27.5	157	27.2	99	26.5	19	25.7	15	33.3	542	27.6
⑮出歩く機会が大幅に減るため、筋力が衰え足腰が弱りやすい	426	27.3	124	36.4	12	18.8	562	28.6	1	8.3	97	26.1	150	29.2	160	27.7	124	33.2	17	23.0	13	28.9	562	28.6
⑯休憩に立つことが少なく長時間椅子に座りがちで、腰痛になりやすい	316	20.2	100	29.3	10	15.6	426	21.7	1	8.3	89	23.9	107	20.9	115	19.9	88	23.6	17	23.0	9	20.0	426	21.7
⑰オンラインだと、時間内に目的達成をするだけで雑談等の交流が出来ない	271	17.4	71	20.8	11	17.2	353	18.0	0	0.0	73	19.6	106	20.7	87	15.1	71	19.0	8	10.8	8	17.8	353	18.0
⑱人と会う機会が減り、必要最小限の会話しかなく孤独感、疎外感を感じる	202	12.9	55	16.1	3	4.7	260	13.2	1	8.3	55	14.8	77	15.0	62	10.7	54	14.5	6	8.1	5	11.1	260	13.2
⑲ずっと在宅だと、仕事と生活の区別やメリハリがつけにくい	362	23.2	94	27.6	9	14.1	465	23.7	0	0.0	109	29.3	128	25.0	124	21.5	84	22.5	11	14.9	9	20.0	465	23.7
白紙	614	39.3	125	36.7	29	45.3	768	39.1	8	66.7	124	33.3	192	37.4	231	40.0	160	42.9	33	44.6	20	44.4	768	39.1
合計	2608	167.1	676	198.2	92	143.8	3376	171.7	14	116.7	655	176.1	901	175.6	936	162.2	680	182.3	111	150.0	79	175.6	3376	171.7

表－28 問 10-心身の健康面 オンライン化になって困ったこと・不満な点は
(問 2 で「オンライン化進んだ」と答えた 815 人中)

	最近オンライン化が進んだ	
	人	%
⑭画面を長時間見続けるので、目が疲れる	286	35.1
⑮出歩く機会が大幅に減るため、筋力が衰え足腰が弱りやすい	330	40.5
⑯休憩に立つことが少なく長時間椅子に座りがちで、腰痛になりやすい	272	33.4
⑰オンラインだと、時間内に目的達成をするだけで雑談等の交流が出来ない	226	27.7
⑱人と会う機会が減り、必要最小限の会話しかなく孤独感、疎外感を感じる	155	19.0
⑲ずっと在宅だと、仕事と生活の区別やメリハリがつけにくい	259	31.8
白紙	161	19.8

「金銭面」ではどうか？ 経費での不満点などを聞いてみました。全体でも、「オンライン化が進んだ」という人でも白紙が半数以上で、「不満」としてとらえるまでには至らないということのように思われます。「進んだ」という 815 人の中では、「在宅時間が長くなり、光熱水費の支出が増えた」が 29.8%と最も多く、「機材購入費や使用料等新たな経費が発生した」は 10.8%、「ネット代・電話代が高くなった」も 5.6%に留まっています。

表-29 問 10-金銭面 オンライン化になって困ったこと・不満な点は(性別・年代別)

	男性		女性		白紙		合計		10代		20代		30代		40代		50代		60代		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
㊸ ネット環境の整備・維持によって新たな経費が発生した	155	9.9	23	6.7	9	14.1	187	9.5	2	16.7	33	8.9	46	9.0	51	8.8	44	11.8	4	5.4	7	15.6	187	9.5
㊹ 回線速度が極端に遅いので、契約内容を変更せざるを得なくなった	54	3.5	12	3.5	0	0.0	66	3.4	1	8.3	14	3.8	15	2.9	17	2.9	18	4.8	1	1.4	0	0.0	66	3.4
㊺ ネット代・電話代が高くなった	107	6.9	22	6.5	4	6.3	133	6.8	3	25.0	21	5.6	29	5.7	40	6.9	30	8.0	5	6.8	5	11.1	133	6.8
㊻ リモートワークにより会社で出していた昼食代が出ず食費が増えた	110	7.0	24	7.0	3	4.7	137	7.0	0	0.0	30	8.1	46	9.0	30	5.2	28	7.5	1	1.4	2	4.4	137	7.0
㊼ リモートワークにより在宅時間が長くなり、光熱水費の支出が増えた	331	21.2	92	27.0	12	18.8	435	22.1	1	8.3	72	19.4	107	20.9	132	22.9	98	26.3	14	18.9	11	24.4	435	22.1
白紙	997	63.9	206	60.4	42	65.6	1245	63.3	8	66.7	243	65.3	338	65.9	361	62.6	215	57.6	53	71.6	27	60.0	1245	63.3
合計	1754	112.4	379	111.1	70	109.4	2203	112.1	15	125.0	413	111.0	581	113.3	631	109.4	433	116.1	78	105.4	52	115.6	2203	112.1

次の「技術対応面」の設問でも「困ったこと、不満な点」としての選択肢にしっくりしたものがないからなのか、白紙が 70%と多く、選択肢それぞれにおいて 10%前後に留まっています。その中では、「オンライン会議中に起こるトラブルに対処できない」が最も多く 13.7%、「使い方を教えてくれる人が周囲にいない」が 10.2%、「オンライン会議のソフトの設定・使い方がわからない」が 8.3%などとなっています。60代では「新しい生活様式についていくことが難しいと感じる」が最も多く 14.9%あるものの年代別などによる大きな差異は認められません。

表-30 問 10-技術対応面 オンライン化になって困ったこと・不満な点は(性別・年代別)

	男性		女性		白紙		合計		10代		20代		30代		40代		50代		60代		白紙	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
㊽ オンライン会議ソフトのインストール・設定・使い方がわからない	139	8.9	32	9.4	2	3.1	173	8.8	1	8.3	26	7.0	36	7.0	53	9.2	45	12.1	9	12.2	3	6.7
㊾ 使い方を教えてくれる人が周囲にいない	164	10.5	30	8.8	6	9.4	200	10.2	3	25.0	27	7.3	48	9.4	65	11.3	48	12.9	5	6.8	4	8.9
㊿ オンライン会議ソフトの使用中に起こるトラブルに対処出来ない	201	12.9	59	17.3	10	15.6	270	13.7	2	16.7	60	16.1	62	12.1	79	13.7	51	13.7	8	10.8	8	17.8
㊻ 新しい生活様式についていくことが難しいと感じる	118	7.6	22	6.5	5	7.8	145	7.4	0	0.0	18	4.8	38	7.4	48	8.3	27	7.2	11	14.9	3	6.7
白紙	1092	70.0	228	66.9	43	67.2	1363	69.3	8	66.7	274	73.7	364	71.0	382	66.2	255	68.4	48	64.9	32	71.1
合計	1714	109.8	371	108.8	66	103.1	2151	109.4	14	116.7	405	108.9	548	106.8	627	108.7	426	114.2	81	109.5	50	111.1

そして、「全体として困ったことは特にない」は 616 人で、全体の 31.3%でした。

問 9、10 の「オンライン化になってよかったこと、困ったこと」の設問全体がコロナ下で感染予防対策上一気に拡大した「コロナ下での生活と働き方の変化について」の意識調査なのか、社会全体に広がっているスマホなどを中心にした「家族や友人・知人とのやりとり」「SNS の利用」「検索やゲーム」「買い物・予約」など日常生活上の IT 活用のあり様についての問いを含むのか、調査の意図が分からなかったのではないかと思います。

表-31 問 10-全体的に オンライン化になって困ったこと・不満な点は(性別・年代別)

	男性		女性		白紙		合計		10代		20代		30代		40代		50代		60代		白紙	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
㊸困ったことは特 にない	524	33.6	70	20.5	22	34.4	616	31.3	7	58.3	127	34.1	146	28.5	182	31.5	126	33.8	16	21.6	12	26.7
㊹その他	108	6.9	17	5.0	3	4.7	128	6.5	2	16.7	25	6.7	33	6.4	37	6.4	23	6.2	6	8.1	2	4.4
白紙	930	59.6	255	74.8	40	62.5	1225	62.3	3	25.0	220	59.1	335	65.3	360	62.4	224	60.1	52	70.3	31	68.9
合計	1562	100.1	342	100.3	65	101.6	1969	100.2	12	100.0	372	100.0	514	100.2	579	100.3	373	100.0	74	100.0	45	100.0

8、要望多い「費用負担」

問 11 では、オンライン化の波に対応するために求めたいこととして、企業や行政にどんな要望があるのかを聞きました。職場（企業）に対しては「Wi-Fi 等の毎月の費用補助」(35.8%)、「リモート作業用のPCの貸与」(34.5%)、「光熱費の補助」(31.6%)、「電話代補助」(20.7%)など費用負担の軽減策を求める要望が強く示されています。「特にない」は 27.0%に留まっています。他方、行政に対する要望としては、「企業へのリモートワーク整備費用の支援枠拡大」(39.5%)、「ネット関連業者に対するセキュリティーの強化指導」(34.2%)、「経済的に厳しい家庭へのネット代金補助などオンライン化支援」(32.9%)と続きます。企業に対しても、行政に対しても、経済的支援、費用負担を要望する意識が強いようです。

表-32 問 11-職場に対して 今後様々なオンライン化の波に対応するに当たって求められることは(性別・年代別)

	男性		女性		白紙		合計		10代		20代		30代		40代		50代		60代		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①リモート作業用のPCの貸与	510	32.7	144	42.2	24	37.5	678	34.5	6	50.0	131	35.2	190	37.0	187	32.4	120	32.2	26	35.1	18	40.0	678	34.5
②リモート用Wi-Fi 等の毎月の費用補助	571	36.6	110	32.3	23	35.9	704	35.8	3	25.0	149	40.1	200	39.0	198	34.3	116	31.1	20	27.0	18	40.0	704	35.8
③職務連絡用の電話代補助	319	20.4	71	20.8	16	25.0	406	20.7	2	16.7	81	21.8	123	24.0	112	19.4	62	16.6	11	14.9	15	33.3	406	20.7
④光熱費の補助	491	31.5	107	31.4	24	37.5	622	31.6	4	33.3	127	34.1	168	32.7	176	30.5	116	31.1	17	23.0	14	31.1	622	31.6
⑤特にない	440	28.2	78	22.9	13	20.3	531	27.0	5	41.7	90	24.2	126	24.6	169	29.3	118	31.6	15	20.3	8	17.8	531	27.0
⑥その他	70	4.5	13	3.8	1	1.6	84	4.3	0	0.0	9	2.4	27	5.3	28	4.9	15	4.0	4	5.4	1	2.2	84	4.3
白紙	110	7.0	25	7.3	8	12.5	143	7.3	0	0.0	19	5.1	25	4.9	47	8.1	27	7.2	18	24.3	7	15.6	143	7.3
合計	2511	160.9	548	160.7	109	170.3	3168	161.1	20	166.7	606	162.9	859	167.4	917	158.9	574	153.9	111	150.0	81	180.0	3168	161.1

表-33 同上(業種別)

	製造		卸・小売		運輸・建設		通信・情報		公務		教育・学習		医療・福祉		サービス業		その他	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
①リモート作業用のPCの貸与	262	33.1	27	37.0	84	28.3	74	46.8	91	46.9	4	14.8	3	37.5	59	37.1	73	30.9
②リモート用Wi-Fi 等の毎月の費用補助	302	38.2	23	31.5	104	35.0	53	33.5	68	35.1	9	33.3	3	37.5	67	42.1	69	29.2
③職務連絡用の電話代補助	167	21.1	11	15.1	56	18.9	38	24.1	60	30.9	2	7.4	2	25.0	26	16.4	43	18.2
④光熱費の補助	313	39.6	19	26.0	64	21.5	65	41.1	39	20.1	6	22.2	2	25.0	42	26.4	69	29.2
⑤特にない	197	24.9	26	35.6	108	36.4	28	17.7	45	23.2	13	48.1	3	37.5	42	26.4	62	26.3
⑥その他	42	5.3	1	1.4	11	3.7	7	4.4	6	3.1	2	7.4	0	0.0	5	3.1	8	3.4
白紙	41	5.2	4	5.5	28	9.4	8	5.1	19	9.8	2	7.4	0	0.0	10	6.3	24	10.2
合計	1324	167.4	111	152.1	455	153.2	273	172.8	328	169.1	38	140.7	13	162.5	251	157.9	348	147.5

表-34 問 11-行政に対して 今後様々なオンライン化の波に対応するに当たって求められることは(性別・年代別)

	男性		女性		白紙		合計		10代		20代		30代		40代		50代		60代		白紙		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
⑦企業へのリモートワーク整備費用の支援枠拡大	592	37.9	159	46.6	26	40.6	777	39.5	4	33.3	171	46.0	219	42.7	219	38.0	127	34.0	18	24.3	19	42.2	777	39.5
⑧オンラインへの移行が難しい高齢者等への支援(無料の講習会等)	283	18.1	70	20.5	14	21.9	367	18.7	2	16.7	41	11.0	88	17.2	110	19.1	91	24.4	25	33.8	10	22.2	367	18.7
⑨経済的に厳しい家庭へのネット代金補助等、オンライン化支援	529	33.9	99	29.0	18	28.1	646	32.9	3	25.0	116	31.2	182	35.5	181	31.4	127	34.0	24	32.4	13	28.9	646	32.9
⑩ネット関連業者に対するセキュリティの強化指導	516	33.1	131	38.4	25	39.1	672	34.2	2	16.7	132	35.5	178	34.7	187	32.4	136	36.5	16	21.6	21	46.7	672	34.2
⑪特になし	361	23.1	54	15.8	11	17.2	426	21.7	5	41.7	74	19.9	108	21.1	136	23.6	83	22.3	14	18.9	6	13.3	426	21.7
⑫その他	40	2.6	10	2.9	0	0.0	50	2.5	1	8.3	6	1.6	14	2.7	14	2.4	14	3.8	1	1.4	0	0.0	50	2.5
白紙	139	8.9	28	8.2	8	12.5	175	8.9	2	16.7	36	9.7	35	6.8	44	7.6	37	9.9	15	20.3	6	13.3	175	8.9
合計	2460	157.6	551	161.6	102	159.4	3113	158.3	19	158.3	576	154.8	824	160.6	891	154.4	615	164.9	113	152.7	75	166.7	3113	158.3

9、むすび

スマホが広く国民生活の中に普及し、「人と人を繋ぎ」「違う世界にも容易にアクセスできる」ようになり、インターネットを活用した世界が日々広がる中で、コロナ感染の予防を契機として、「生活と働き方」をも大きく変える「新しい生活様式」にどんどん進んでいく、そのことに働いている側の人たちがどのように向き合おうとしているのか、時季にかなった意識調査と言えるでしょう。

「リモート・ワーク」「テレワーク」「オンライン会議」などが急速に取り入れられました。労働政策研究・研修機構（JILPT）が行った「在宅勤務・テレワーク」に関する調査（2020年7月）によると、企業側においては「労働時間の管理」「業務進捗の管理」「会社の上司や同僚とのコミュニケーション」「情報セキュリティ確保」「評価」などに課題がある、とし、従業員サイドでは、「仕事と生活の時間の区別」「長時間になりやすい」「仕事の評価が難しい」「上司とのコミュニケーション」などに課題があるとしています。また、同機構が行った別の調査（2020年12月）では、「在宅勤務・テレワークによる仕事の生産性・効率性は低下する」との回答が66.2%、3分の2に達し、「在宅勤務・テレワーク」の実施状況も「減少」傾向にあるとされています。

※総務省の「通信利用動向調査」によると、インターネット利用は90%に及び、「不安を感じる」とこととしては「個人情報やインターネット利用履歴の漏洩」をあげる人が88.4%に達しています。

本調査でも、オンライン化が進んで「仕事がはかどる」は2割程度で、通勤時間が減ったことやコロナ感染のリスクが減った意味はあっても、メリット感はあまり多くはないようです。一方、デメリットと感じる点は「目が疲れる」「足腰が弱りやすい」「腰痛になりやすい」など健康面での不安が少なくありません。やはり、「労働時間の管理」「業務に対する評価」「上司・同僚とのコミュニケーション」「セキュリティ確保」など課題は多く、インターネット利用における利点を生かした導入、ルール作りが必要に思われます。